

# 城ヶ島ハイク

## 【コースと交通機関ご案内】

9.30：京急三崎口駅前集合

品川(8.10) - - 横浜(8.37) - - (9.32)三崎口

## 【コース概略】 全行程5K

三崎口(9.51) - - バス - - (10.20)白秋歌碑前・白秋記念館見学(11.00) - - 城ヶ島公園 - - (11.30)安房崎灯台 - - 城ヶ島公園 - - ウミウ展望台(11.45) - - 馬ノ背洞門(12.00) - - 城ヶ島灯台(12.30) - - (12.45)昼食 - - 城ヶ島バス停 - - 三崎口駅・解散

【昼食】磯料理・梶ノ亭(椅子席) 046-882-3906

お刺身定食 ¥1,600・煮魚定食 ¥1,800

煮魚は金目鯛です、ご希望の方は予めお届け下さいお届けの無い方はお刺身定食。

【コースの説明】京急三崎口駅から城ヶ島行きバスに乗り、城ヶ島大橋を渡って白秋碑前まで行きます。降りたら大橋の下を海岸方向に行きます。白秋の歌碑が有り「城ヶ島の雨」の一節が歌詞と楽譜で刻まれて居り、すぐわきには白秋記念館が有り見学。バス停まで戻り、当初「水ツ垂」経由の予定でしたが危険通行止めで、「県立城ヶ島公園」経由に変更ゲートを通り左寄りの道を進み芝生広場の先から海岸に降りると、思ったより小さな白亜の安房崎灯台です。此処は島の東端で遮る物の無い眺望は素晴らしい、小さな漁船から大型貨物船まで絶え間なく行き来する光景が目立ちます。この灯台は城ヶ島では最も古く、慶安元年(一六四八年)に当時の三浦奉行が此処に灯明台をもうけたのが始まりと伝えられて居ります。安房崎から磯岩場を崖寄りに進み展望台下から「県立城ヶ島公園」に戻り、展望台に登って景観を再確認、眺望を楽しんだら公園を出て歩道を進むと左側にウミウ展望台の標識を入ります。展望台をすぎると道がY字路、左側赤羽根崎方向に進み海岸に降りると、「馬ノ背



の洞門」、ここから先は砂浜を城ヶ島灯台に向かつて歩きます。灯台に登り最後の景観を楽しんだらバス停方向へ、灯台は明治三年に点灯、最古の観音崎に次いで二番目とか、でも、それ以前は享保六年(一七二一年)安房崎から灯明台を移したのが始まりだそうです。

【水ツ垂】東海岸埋立地の東端付近の海岸際にある崖を伝って湧き水、年中絶えることが無いとか。【県立城ヶ島公園】面積十五ヘクタールで島のほぼ東半分を占め、芝生広場や休憩所などがあり、特に展望台では三崎港から剣崎灯台までの三

## 【城ヶ島発バス時刻表】

13時台	;	18,	45,
14時台	;	28,	46,
15時台	;	26,	52,
16時台	;	20,	52,

浦半島南岸や房総半島、伊豆大島、天城・箱根・富士・丹沢などが見渡せ、却下の岩礁には太平洋の荒波がうち寄せて壮観です。【ウミウ展望台】秋から春にかけて寒さを避けて渡ってくるウミウやヒメウ、南方からの渡り鳥クロサギなどが、外洋に面した高さ三十メートル程の絶壁を生息地(神奈川県指定天然記念物)にして居て、最盛期には二千羽にもなるそうです。【馬ノ背洞門】めがね洞門とも呼び、軟質の岩が浸食されて貫通した部分をフレームにして、航行する船舶が眺められます。





安房崎

城ヶ島

三崎町城ヶ島

西山

遊ヶ崎

本松

水産技術センター

三崎大橋

三崎港

灘ヶ崎

長津呂崎

三崎五丁目

三崎三丁目

三崎二丁目

城ヶ島

晴海町

向ヶ崎町

諏訪町

宮